

20031

当院におけるスタッフ向けカンファレンスを通じてのチーム力向上への取り組み

¹横浜新都市脳神経外科病院、²横浜新都市脳神経外科病院

齋藤 誠¹、柴田 和宏¹、湯瀬 竜太¹、平久保 拓¹、堀江 亮太¹、須藤 英明¹、芦田 和博²

【背景・目的】当院では昨年5月中旬からPCIが開始され、月平均40件PCIを施行している。当初PCI/CAG未経験のスタッフが多く、知識の習得・情報の共有・チームとして共通認識のもとに協力し合えるチームを目指し、医師によるスタッフ向けカンファレンスを行ってきた。ここで当院におけるスタッフ向けカンファレンスを通じてのチーム力向上への取り組みを報告する。【方法】週一回、医師・カテ室スタッフが集まり、患者情報・手技の戦略・デバイスの選択理由・リスク・緊急対応の方法を各自で考えた上で議論し、その内容を各自のカンファレンスシートに記入した。また、メーカーによるデバイスの説明会、理想のチームになるための話し合いや確認等を随時行ってきた。【結果】カンファレンスで情報を共有したことで、PCI施行時に手技手順やリスクをメンバー全員が予測する事が出来た。知識の向上とともに、一致団結・協力し合うことが出来てきた。【結論】スタッフ向けカンファレンスは有用で、チーム力向上につながる。チーム全員が自ら考えることで先読みした行動、術中の積極的な声出し確認ができており、安全で正確に、緊張感を持ってPCIに携わることが出来る。さらに患者さんの安心と満足の為に、医療人として何が出来るかチームとして考える機会ともなる。カテ室スタッフは全て等しくチームの重要な一員であり、先読みしてスタッフ自らが動き医師に伝えることが出来る、より完成度の高いチームになれる様、今後も更にスタッフ向けカンファレンスを続けていく予定である。